

粗悪学術誌に関する注意喚起

研究成果のオープンアクセス化の進展に伴い、粗悪学術誌（いわゆるハゲタカジャーナル）の問題が表面化しています。粗悪学術誌は、十分な査読を行わずに著者から高額な論文掲載公開料（APC：Article Processing Charge）を得ることを目的としたジャーナルです。

このような粗悪学術誌に投稿すると以下のような問題を生じる可能性があります。

- ・ 著者や著者所属機関の信頼・評価の低下
- ・ 質の保証されない掲載誌への不信から、研究成果に対して正当な評価がなされない
- ・ 論文受理後の不当な高額料金の請求
- ・ 投稿撤回が認められず、再投稿ができなくなる
- ・ 廃刊・WEB サイトの閉鎖等、論文の長期的なアクセスが担保されない

このため、学術誌へ投稿するに際しては、下記のようなウェブサイトのチェックリスト等を参考に信頼性をチェックし、投稿先を検討するようにしてください。

なお、これらの情報は関係する研究者や大学院生にも共有していただくようお願いいたします。

1 チェックリストのあるウェブサイト

- ・ Think Check Submit： <https://thinkchecksubmit.org/>
- ・ Think Check Submit（日本語版）： <https://thinkchecksubmit.org/japanese/>

2 投稿予定の学術誌が信頼性の高いデータベースに収録されているか

- ・ Directory of Open Access Journals (DOAJ)： <https://doaj.org/>
- ・ Web of Science： <https://www.webofscience.com/wos/woscc/basic-search>

3 投稿予定の学術誌の出版社が以下の団体に登録されているか

- ・ COPE (Committee on Publication Ethics)
出版規範委員会 ⇒メンバー検索ページ： <https://publicationethics.org/members>
- ・ OASPA (Open Access Scholarly Publisher's Association)
オープンアクセス学術出版社協会 ⇒会員リストページ：
<https://www.oaspa.org/membership/current-members/>

以 上

【問い合わせ先】

研究支援・社会連携グループ（研究支援担当）

Email： kenkyushien@ml.kandai.jp